

小兒並ニ「グアニヂン」中毒家兎血液及尿中 「グアニヂン」量ニ就イテ (第1報) (抄録)

金澤醫科大學小兒科學教室(泉教授指導)

島 崎 文 太 郎

Buntaro Simasaki

(昭和19年9月30日受附)

尿中「グアニヂン」ハ Weber 法ニヨリ, 血中「グ」ハ Andes a. Mayers 法ニヨリ分離シ Major u. Weber ノ方法ニヨリ Pulfrich 比色光度計ヲ用ヒテ比色定量セルニ急性消化不良症患兒尿ニ於テ何レモ或ル程度ノ増加ヲ認メタリ.

尙健常家兎皮下ニ鹽酸「グ」ヲ注射セル場合ニ就イテ見ルニ, 生存セル程度ノ量ニ於テハ血中

「グ」量ノ増加僅少ニシテ, 且ツ増加ニ比較的長時間ヲ要セリ. 之レニ反シテ數時間乃至十數時間ニテ死ノ轉歸ヲトレル例ニアリテハ何レモ増加ヲ認メタリ. 但シ其ノ量ハ極メテ僅微ナリ.

尿中「グ」量ハ生存セル例ニアリテハ排泄著明ナルニ反シ, 短時間内ニ死亡セル例ニアリテハ却ツテ比較的少量ナルヲ見タリ.